



食育だより

No. 9



12月～1月は、クリスマスやお正月などで家族や親しい人と共に食事ができるよい機会です。大勢で食べる喜びや安心感は、料理を一層おいしく感じることにもつながります。また、行事食を通して、食への興味が深まる効果も期待できます。ぜひ、楽しい食事の時間を設けてあげてください。



「お父さん、がんばれー!!」



おピ
もん
ちく
だの
！」

もちつき会

今年度は感染症対策で、オヤジの会のお父さんと一緒にきねを持っておもちをつくことはできませんでしたが、お父さんたちがもちつきをするかっこいいところを見学し、「よいしょ～！」と掛け声で応援しました。うすときねを使ったもちつきは、今ではほとんど見られませんが、昔ながらの伝統行事に親しみ、おもちの感触やできあがるまでの工程を楽しむことができました。皆様のご協力、ありがとうございました。



見て、触れて、においを嗅いで、五感をフルに使った体験は、多くの学びが生まれます。



おもちをまるめてみよう！

桜組・竹組・松組のお友だちは、自分で食べるお雑煮とごま醤油もちを入れるおもちを、ちぎってまるめます。



のびる。

「いただきます」

先生が近くで見守り、ゆっくりかんで食べるよう声を掛けながら、お雑煮やごま醤油もちを食べました。ごま醤油もちが人気で、おかわりをする子もいましたよ！



桃組・楓組は、おもちの代わりにごま醤油豆腐を提供しました。

令和7年12月27日

認定こども園
東雲幼稚園
TEL 54-8220

給食担当 佐藤 裕美

もちつきごっこ（桃組&楓組1・2歳児）

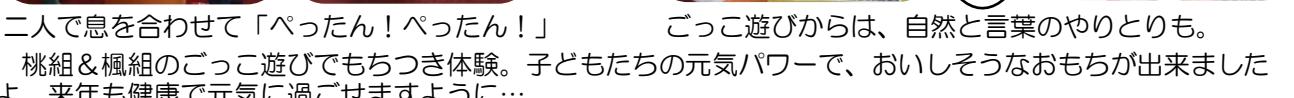
大きなきねを振り上げてもちをつくお父さんたちを見て、桃組&楓組ももちつきに挑戦！「よいしょ～！よいしょ～！」ときねを振り上げ、ごっこ遊びで昔ながらの伝統行事に親しました。



「どれにしようかな？」

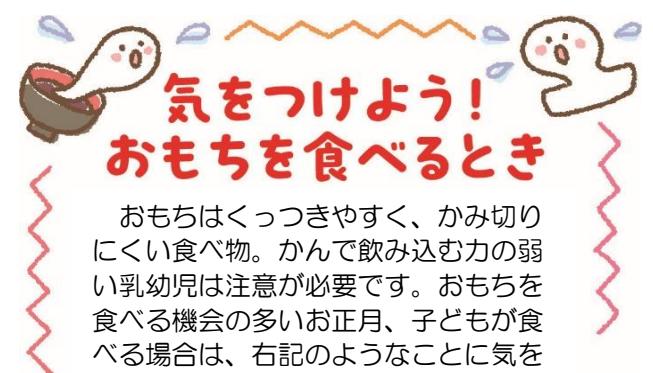


ありがとう。



ごっこ遊びからは、自然と言葉のやりとりも。

桃組&楓組のごっこ遊びでもちつき体験。子どもたちの元気パワーで、おいしそうなおもちが出来ましたよ。来年も健康で元気に過ごせますように…。



気をつけよう！ おもちを食べるとき

おもちはくつつきやすく、かみ切りにくい食べ物。かんで飲み込む力の弱い乳幼児は注意が必要です。おもちを食べる機会の多いお正月、子どもが食べる場合は、右記のようなことに気をつけましょう。

- おもちは小さく切るなど、食べやすい大きさにする
- 食べる前にお茶や汁物を飲んでのどを潤しておく
- 少量ずつ口に入れ、よくかんでから飲み込む
- 食事中は歩き回らない、横にならない
- 必ず大人と一緒に食べ、食べている間、大人は目を離さない



令和7年度 給食年間目標『あか・き・みどりの食べ物を知る』

第2回 食育集会・給食参観日

(三色食品群について)

◎日時：1月31日(土)午前10時～ ◎場所：遊戯室
◎講師：あおもり食育センター 山谷 詠子氏 前多 敬子氏

第2回の食育集会は、あおもり食育センターの方々を講師に迎え、三色食品群のお話やゲーム等を予定しています。食育集会終了後、給食参観となっています。お子さんが給食を食べる姿をご覧ください。

(松組・竹組・桜組：遊戯室 楓組・桃組：各部屋)

